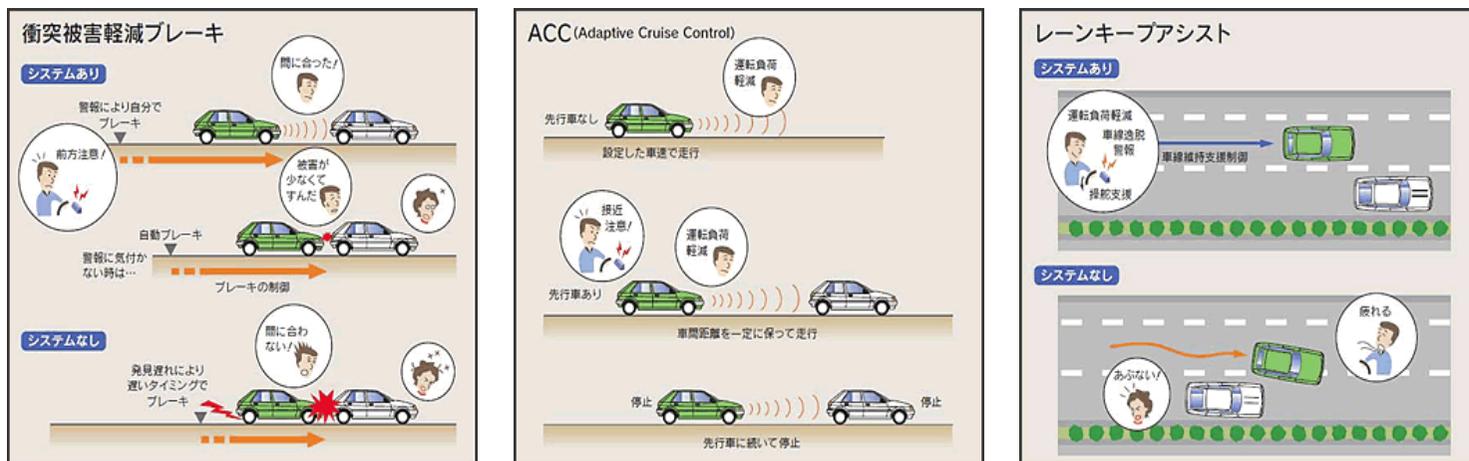


車車間通信・路車間通信・歩車間通信等の早期実用化

総務省資料より

これまで車載レーダーやカメラなどにより、先行車や車線を把握し、車が自律的に衝突回避や車線逸脱を防ぐシステムが実用化されてきた(自動車単体の安全運転支援技術(自律型))。



出典:実用化されたASV技術(国交省自動車局)

自動車単体の安全運転支援技術(自律型)の実用化により、これまで交通事故が削減されてきたが、

さらなる交通事故の削減のためには、「車車間通信・路車間通信・歩車間通信」等を用いた協調型の安全運転支援システムの早期実用化が必須である。

